

2016年度 第3四半期決算説明会  
主な質疑応答

Q1: チェキが欧米を中心に好調とのことだが、全体の台数と伸び率を教えてください。

A1: 3Q 販売台数は280万台で対前年+83%増、3Q 累計では544万台で対前年+47%増と非常に好調に推移している。年間目標の650万台は達成できるとみている。

Q2: インフォメーションソリューションの4Q計画が非常に高い計画に見えるが？

A2: メディカルシステム事業が4Qに大きく伸びるトレンドがあることに加え、今年度はフラットパネルディスプレイ材料事業が想定以上の推移で4Qも同様の傾向が続くと見ている。加えて、電子材料事業も順調な進捗が続いており、セグメント全体で強めの着地を目指している。

Q3: ドキュメントソリューションの3Qの収益性が低下しているが、今後の見通しは？

A3: 為替の円高によるマイナス影響と欧米向け輸出の減少に加え、主力MFPのフルモデルチェンジによる一時的なロスが生じた。市場導入に向けた品質の作り込みに想定よりコストがかかったこと、新商品の垂直立ち上げに向けた販促活動などを前倒ししたことなどによる。4Qは競争力のある新製品の拡販を日本及びアジアオセアニアで進める。

Q4: 自己株式取得の500億円の枠が残っているが、実施の方向性は？

A4: 引き続きM&Aの進捗状況とのバランスで実施を検討する。

以上